

## 西武新宿線連続立体交差事業に舵を切る



中野通り西武新宿線開かずの踏切対策として以前に中野区独自に道路を改良して解決の道をつけようと説明会を開いたことは前回この記事で述べた通りです。さて、中野区が示した道路改良案（アンダーパス方式やオーバースタック方式）は沿道の桜並木に影響を及ぼす事と街を分断する等の理由で断念せざるを得ない状況に追い込まれました。しかし、朝夕のラッシュ時の開かずの踏切は中野区北部の人や物の流れの妨げになります。

そこでヒントになったのが西武新宿線急行地下化がすでに都市計画決定していることでした。西武鉄道は急行線のみを地下化し、緩行線は地上線路利用の方法を考慮し開かずの踏切対策を少しでも緩和する努力を重ね、都市計画決定？事業認可を受けあとは事業着手を待つばかりでしたが、コストの問題等重なりなかなか着手に及ぶことが出来ず断念。

その地下化に着目したのが当時地元都議であった松本文明氏（現在衆院議員）と故橋本辰二郎氏の両名であった。急行線のみに限らず全線を地下化してみてもいいか？といった相談を東京都、中野区はもとより鉄道事業者（西武鉄道）にもちかけます。更には国に相談した上で国費を投入した『連続立体交差事業』といった事業手法を採用する方向に舵をきります。

ところでこの事業に国費を投入するには優先順位がつかまいます。何故か？それは東京都の中には中野通りと西武新宿線交差部における開かずの踏切に限らず、未だ他の鉄道沿線にも開かずの踏切問題が山積しているからに他なりません。

## 議会役職・スポーツ文化団体・地域団体・座右の銘・趣味

### 議会役職

中野区議会議員七期連続当選、第51代区議会議長、党議員団幹事長、監査委員等要職を歴任、現在、建設常任委員、中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会、後期高齢者広域連合会議議員を務める。

### 座右の銘

「至誠天に通ず」（真心は必ず人を動かす）

### 趣味

読書、ゴルフ、ドライブ、ウォーキング、司馬遼太郎

### スポーツ文化団体

現在、中野区バレーボール協会会長、中野区ソフトボール連盟会長、中野区テコンドー協会会長、東京城西地区跆拳道協会会長、一般社団法人中野区体育協会理事、中野区柔道会相談役、剣道連盟後援会理事、なぎなた連盟後援会理事、中野区日本舞踊連盟相談役、NPO法人国際珠算普及基金理事を務める。

### 地域団体

自衛隊募集連絡相談員、公益社団法人中野区教育振興会理事、打越町会副会長、新井南町会副会長を務める。



Facebook ページ：中野区再開発

## ソーシャル


市川みのるウェブサイト  
<http://iminoru.jp/>

「市川みのる」で検索



 <https://www.facebook.com/renakanoku/>

 Twitter : @ichikawa\_minoru

 instagram : @minoruichikawa7



## みのる事務所

市川みのる区政レポート vol.02 2017/11/24 発行  
 討議資料

発行：市川みのる事務所

郵便番号：164-0001

東京都中野区中野4-3-1 オフィスサンクオーレ204

電話番号：03-3388-3039

FAX番号：03-3319-8024

メール：minoruoffice@nifty.com